



通信

HP 学校だより
R6. 10. 24
NO. 25
文責 伊藤美佳



研究発表会を終えて

10月23日（水）に研究発表会を行いました。

豊坂小学校の研究のテーマは、予測不可能な時代を生きていく子どもたちが、困難にぶつかったときに、自分で「どうする」と考え、道を切り拓けるようにしていくにはどうしたらいいのかというものです。今回は、3年間考え、実践してきた成果を多くの先生方にお伝えし、子どもたちの姿を見てともに考えていただく場としました。

授業の中で、子どもたちが「自分事」になる問いや「あんなふうになりたい」といったゴールの姿を示すことで、学びを進めていきました。当日は、自分の意見や考えをもって、仲間とともに話し合い、自分なりの最適解を見つけ出そうとしている子どもたちの姿をみていただくことができました。今回、ご覧いただいた先生方よりいただいたご意見やご感想を今後の研究の参考とさせていただきます。

しかし、「めざす子ども」に近づくには、授業だけではできません。自分たちで考え、企画し実行することで、多くの学びがあります。例えば、研究会前日の準備では、6年生が渡された椅子の配置図を見て、自分たちで考えて準備できていました。当日の下校は、雨も少し降り、運動場もぬかるんでいてとても良いコンディションではありませんでしたが、いつもと違う場所で、一斉下校することができました。これも、「どうする」と考えて行動している子どもたちの姿であると考えます。

学校で行っている多くの行事、縦割り活動や委員会活動の中では、できるだけ多くの「どうする」を与えていきたいと考えています。ご家庭でも、子どもたちに答えを与えるのではなく、「どうしたい？」と尋ね、自分で「どうする」と考える場を与えていただきたいです。そして、学校でも家庭でも、自分の意見を伝え、相手の意見を聞きながら最適な答えを見つけられる豊坂っ子を育てていきたいです。

好きこそものの上手なれ

研究発表会で来校される皆さんに、豊坂小学校のことを知ってもらうための動画を6年生の有志で制作してくれました。

これは、1学期にナス栽培を紹介する動画を制作し、町内の小中学校へ配布して見てもらったことから、6年生に「紹介動画があると豊坂のことを分かってもらえるね」といった話をしていたことがきっかけです。「やりたい」と思ってくれた有志が集まって制作にとりかかりました。自分たちでプロットをたて、必要な動画や写真、インタビューを撮り、コメントを書き込み、つながるように編集して仕上げたそうです。少しの時間も惜しんで動画制作に取り組んでくれたことに感動を覚えます。「好きだから熱中して活動でき、それが力となる」そんな言葉がふと頭に浮かびました。

研究発表会の準備で体育館の椅子をならべながら、「こんなにたくさんの人にあの動画を見てもらえるんだ」とつぶやいていた子どもたち。見られた先生方から「豊坂の良さがよくわかったよ」と言っていただけでしたよ。